



湖北

首都圏で長浜市の観音文化を発信する「東京長浜観音堂」(東京・日本橋)の第2期展示に総持寺(同市宮司町)蔵の千手観音立像が出陳されている。第2期は9月1日まで。千手観音立像は同市指定文化財で、像高106・1センチ。通常は同寺本堂左脇壇にある厨子内に安置されている。頭部から体部をヒノキの一枚から彫り出した上、いったん前後に割って内部をくり抜いてから再び接合する一木割

長浜

総持寺の千手観音立像出陳 東京長浜観音堂の第2期展示に

知造という技法で作られている。丸顔で柔和な顔立ち、丸みを帯びた肩や胸、極めて浅い衣文線など平安時代後期(12世紀)に流行した仏師定朝の様式を踏襲し、洗練された姿を示している。6月16日まで開かれた第1期は142



総持寺の千手観音立像

0人が来館した。同観音堂は今年度での終了が決まっている。開館時間は午前10時〜午後6時。月曜休館。入館無料。【長浜通信部・長谷川隆広】

長浜缶缶に夏バージョン

「星」「カゲロウ」など9種

長浜

長浜市の第3セクター「長浜まちづくり」は長浜らしいスポットや名産をイラストで表現したお土産「長浜缶缶」を夏バージョンにリニューアルした。2020年にリリースされた第1弾が好評だったため、第2弾も企画された。今回のデザインは「星降るびわ湖」「大通寺の家族」「水田に映える暮らし」「ゆらゆらカゲロウ」など9種類。ちようど手の平に収まるサイズの缶で、中には和菓子店「柏屋老舗」(同市分木町)オリジナルの和三盆を使った菓子が入っている。9種類のデザインのうち1種類は同店限定で購入できる。



リニューアルされた長浜缶缶

パッケージに書かれた「Nagahama 36VIEWS」の文字は、湖北の四季や暮らしの光景を葛飾北斎が描いた「富嶽三十六景」になぞらえて表現する意図がある。価格は880円。同市元浜町のB IWAKO PICNIC BASEやオンラインで販売している。【長浜通信部・長谷川隆広】

湖東

彦根市京町1のフリースクール「てだのふあ」の山下吉和代表(63)らが20日まで、



補償費の運営(左)代表のヘリ代、クル山のフリースクールの代表を訴え

彦根

フリースクール支援署名 運営費の公的助成を求め

運営費助成を市に求める署名運動を進めている。てだのふあは2021、23両年にも公的支援を求める署名簿を提出。市は22年度、フリースクール利用料の補助制度(月額上限3万円)を始めたが、施設運営費に対しては助成していない。てだのふあは元小学校教員ら5人を雇っているが、給与を最低賃金レベルに抑えても年間600万円以上が不足し、民間の助成金などでやりくり

しているという。山下代表は「県内でも近江八幡市がフリースクール運営補助を始めた。全国的にも長野県、札幌市、茨城県つくば市など先例は多い。私たちを公を補完する存在として認め、彦根市や県も積極支援してほしい」と訴えている。署名用紙はホームページからダウンロードできる。問い合わせは山下代表(090・9099・4822)。【彦根通信部・伊藤信司】

彦根にトレーラーハウス型ホテル

「ココット彦根」西側に30室

彦根

彦根市松原町に、トレーラーハウス型のホテル「Trail Inn 彦根城」がオープンした。近江鉄道の商業施設「ocottoHIKONE (トリット彦根)」西側駐車場に設けられ、ヒーローライフカンパニー(東京都港区)が運営している。ヒーローライフカンパニーは東日本大震災の経験から木製ユニット住宅を開発。これを活用し、2021年から



7月にあった「Trail Inn 彦根城」の内覧会

栃木県那須塩原市でトレーラーホテル事業を始めた。既に茨城、群馬、岩手、埼玉、秋田、青森各県のロードサイドにも展開し、彦根が12カ所目となる。客室はダブル(13平方メートル)が10室、ファミリー(17平方メートル)が20室。ユニットバス、トイレ、キッチン、洗濯機を完備し、遮音性にも優れているという。フロント棟に無人チェックインシステムがある。料金は1人5500円からでウェブサイトで予約できる。非常時は要請に応じ、仮設避難場所、ウイルス対策の隔離施設にも転用可能という。【彦根通信部・伊藤信司】